



## 5. FD委員会の開催

- 開催日:平成21年9月14日(月) 16:10~18:00  
会場:立正大学 大崎キャンパス 第2会議室  
議題:1)FD関連諸規定について 2)後期FD推進講演会について 3)ホームページFD推進活動状況について 4)その他
- 開催日:平成21年11月16日(月) 16:10~18:00  
会場:立正大学 大崎キャンパス 第2会議室  
議題:1)FD改善報告について 2)その他
- 開催日:平成22年3月24日(水) 16:10~16:40  
会場:立正大学 大崎キャンパス 第2会議室  
立正大学 熊谷キャンパス 第1会議室  
議題:1)大学院FD推進委員会規程の改正について 2)その他
- 開催日:平成22年5月17日(月) 17:10~18:40  
会場:立正大学 大崎キャンパス 第2会議室  
議題:1)平成22年度FD推進活動計画について 2)その他

## 6. 平成21年度学外研修会・研究会報告

## 1 社団法人日本私立大学連盟主催

- 平成21年度FD推進会議(専任教職員向け)  
「学士課程教育の構築とFD～シラバスからカリキュラム・ポリシーへ～」  
開催日:平成21年6月20日(土)  
会場:上智大学四谷キャンパス(東京都千代田区)
- 平成21年度FD推進会議(新任専任教職員向け)  
「大学教員の職能開発とFD」  
開催日:平成21年8月10日(月)~11日(火)  
会場:グランドホテル浜松(静岡県浜松市)
- 平成21年度自己改革システム習得プログラム  
目的:大学改革を実効あるものとするために、大学改革を担う教職員がマネジメントサイクル(PDCAサイクル)を構築する手法を実践的に修得し、大学現場において日々機能させる。  
開催日:平成22年8月31日(月)~9月2日(水)  
会場:アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)

## 2 社団法人私立大学情報教育協会

- 平成21年度教育改革FD/IT理事長・学長等会議  
「学士力を担保する大学教育強化を考える」  
開催日:平成21年8月8日(土)  
会場:上智大学四谷キャンパス10号館講堂(東京都千代田区)

## 7. 平成22年度学外研修会・研究会報告

## 1 社団法人日本私立大学連盟主催

- 平成22年度FD推進会議(専任教職員向け)  
「キャリアガイダンスと教職員の職能開発～学生の自律を支援するFDとSD～」

開催日:平成22年6月26日(土)  
会場:法政大学市ヶ谷キャンパス(東京都千代田区)

## ■平成22年度FD推進会議(新任専任教職員向け)

「大学教員の職能開発とFD」  
開催日:平成22年8月9日(月)~10日(火)  
平成22年8月11日(水)~12日(木)  
会場:グランドホテル浜松(静岡県浜松市)

## ■平成22年度自己改革システム習得プログラム

目的:大学改革を実効あるものとするために、大学改革を担う教職員がマネジメントサイクル(PDCAサイクル)を構築する手法を実践的に修得し、大学現場において日々機能させる。

開催日:平成22年8月30日(月)~9月1日(水)  
会場:アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)

## 2 社団法人私立大学情報教育協会

## ■平成22年度教育改革FD/IT理事長・学長等会議

「社会的・職業的自立に向けたキャリア形成教育を考える」  
開催日:平成22年8月3日(火)  
会場:早稲田大学大隈記念講堂小講堂(東京都新宿区)

## 3 上智大学・東洋大学視察

開催日:平成22年2月26日(金) 15:30~17:00  
訪問先:東洋大学(白山キャンパス)

自己点検・評価、学事改革関係の他大学の具体的な取り組み状況や運営組織などの情報収集を目的に、FD業務および自己点検・評価業務に携わる本学教職員3名で、東洋大学白山キャンパスを訪問した。

開催日:平成22年5月28日(金) 10:00~12:00  
訪問先:上智大学(四谷キャンパス)

授業改善アンケートの他大学の実施方法などの情報収集を目的に、FD業務および自己点検・評価業務に携わる本学教職員3名で、上智大学四谷キャンパスを訪問した。特に授業改善アンケートのWEB利用の実施について、情報収集ができた。

## 平成22年度立正大学FD推進委員会

委員長 山崎和海(学長) 副委員長 吉岡 茂(副学長/自己点検・評価小委員長)  
委員 原 慎定(仏教学部長) 北村行遠(文学部長) 五味久壽(経済学部長) 秦野 眞(経営学部長) 鈴木隆史(法学部長) 仲山佳秀(社会福祉学部長) 米林 伸(地球環境科学部長) 齊藤 勇(心理学部長) 稲葉一洋(教務委員長) 田中祥友(大崎学事担当部長) 安永光男(熊谷学事担当部長)

## 平成22年度立正大学大学院FD委員会

委員長 山崎和海(学長) 副委員長 榎原英夫(副学長)  
委員 伊藤瑞穂(文学研究科長) 元木 靖(経済学研究科長) 山口道昭(法学研究科長) 池上和男(経営学研究科長) 三友量順(社会福祉学研究科長) 後藤真太郎(地球環境科学研究科長) 中田洋二郎(心理学研究科長) 田中祥友(大崎学事担当部長) 安永光男(熊谷学事担当部長)



熊谷キャンパス

## 立正大学FD推進活動について

学長 山崎和海

今日の大学は誰でも高等教育を受けることができる、いわゆるユニバーサルアクセス時代を迎えている。12世紀にヨーロッパで誕生したころの大学で行われていた「寝食を共にしながらの教育」は望むべくもないが、大学教育は少数の一部エリート層を育てる教育から、不特定多数の学生を相手とする教育へと変わったのである。最近よく言われる「入口から出口へ」という表現は、大学の質保証が入試による質保証から大学教育によるそれへと劇的に変わったことを意味している。われわれ教職員は、こうした時代の変化に対応しなければならない。

FDは、大学をとりまく時代の要請に的確に対応するため、組織的に不断の教育の内容と方法の改善に取り組む活動であるが、今年度もさらなるFD推進活動の深化に努めるつもりである。すべての教職員のご協力を心から期待する次第である。



## 立正大学FD推進活動の検証とチャレンジ

副学長 吉岡 茂

3年前、米国7大学のFDの実態などを調査する機会に恵まれました。西海岸から東海岸までの性格の異なる大学のマネジメントやFDなどに関する調査です。訪問した大学は世界レベルの一流大学として有名なスタンフォードやパークレーもあれば、周辺地域の学生たちが大半を占めるいわゆるレベルの高くない大学もあります。しかしすべての大学に共通していたことは、「われわれは、学生に最高の教育を提供する。そのためには、合理的と考えられるあらゆる対策をとる」といった極めてシンプルで前向き、建設的な姿勢でした。ミネソタ大学の学部長などは、「教育の質で、世界一を目指す」と断言したほどです。

どうしたら大学教育の質保証が可能でしょうか。当然ながら個々の教員は「できる限りの最良の教育」に取り組んでいる筈です。しかしそういった教員の努力が、具体的な結果や成果につながっているかどうかは問われなければなりません。教育内容や方法が、結果や成果を無視した独善的なものに陥っていないかどうかです。教育の結果は試験やレポートなどで把握できます。しかし、成果はどうやって検証すれば良いでしょうか。

米国で訪ねたいくつかの大学では、卒業生や父兄、就職先などからアンケートを取ってその成果を検証していました。卒業生に対して「あなたが本学で学んだ内容は、現在の仕事に役立っているか」と聞く。役立っていれば成果があったのであり、そうでなけ

れば成果がなかったこととなります。さらに「あなたが本学で学んだ内容に満足しているか」「どこをどのように変えれば、さらに良くなると思うか」「もう一度大学に入るとしたら、また本学を選ぶか」といった質問が続きます。最後の質問に対して、他大学を選ぶ卒業生が多いようなら、その大学の存在自体が極めて危ういことを意味するでしょう。いずれにしても、大学教育の質改善に直接役立つような質問が繰り返されています。このような米国流のやり方を批判するのは簡単ですが、「最高の教育を提供する」ための建設的な姿勢には学ぶべき点が多いことも事実です。

こうした検証結果は授業改善アンケート結果などとともに、学部や教員にフィードバックされます。教員はこうしたデータを利用するほか、ピアレビューの実施やティーチングポートフォリオ、シラバスの点検・改善などを通じて、不断の授業改善に取り組むわけです。

本学においてもFDが定着し、厚みを増してきた感があります。この6月18日に開催された経営学部のFD研修会に出席しましたが、「学修の基礎I」の教授法についてとても明るい建設的な議論が1時間にわたって展開されました。本物の地に足の着いたFD活動に感銘を受けました。これから教職員の皆様とともにFD推進活動の充実・活発化に取り組むことで、本学のさらなる教育の質向上にチャレンジし続けたいと考えます。

## 立正大学FD活動報告(平成22年度～)

### 1. 第1回FD研修会 平成22年度 FD新任教員研修会報告

開催日:平成22年5月1日(土) 13:30～17:30

場 所:研修会/大崎校舎 1号館1階 第3会議室

懇親会/大崎校舎 1号館4階 第7会議室

昨年度から、新任教員研修会をFD活動の一環として位置づけた。実施目的は下の通り。

- 1.立正大学の現状を把握し、各教員が共通認識に立った上で教育・研究を実践していくこと。
- 2.学部を越えた教員間のコミュニケーションを促し、教員同士のつながりを深め、最低限のコンプライアンスを持つこと。

#### FD 新任教員研修会プログラム

- 1.開会挨拶……………理事長 及川周介
- 2.副学長紹介
- 3.基調講演～変わる立正大学について……学 長 山崎和海
- 4-1.「『モラリスト×エキスパート』を育む。」…副学長 今井 賢  
～建学の精神、教育理念、ブランドビジョン  
立正大学の現状と今後目指す方向性・展望etc
- 4-2.「初年次教育  
～導入教育とリメディアル教育の役割」…副学長 吉岡 茂  
～学修の基礎について
- 4-3.キャンパス・ハラスメントについて……………副学長 清水千尋
- 4-4. 科研費の申請と公的資金の取扱いについて……副学長 榊原英夫
5. ワークショップ  
A・Bグループ:「『モラリスト×エキスパート』」…A:副学長 清水千尋  
の人材育成を考える B:副学長 今井 賢  
C・Dグループ:「『ケアロロジー』」の実践を考える…C:副学長 吉岡 茂  
D:副学長 榊原英夫
6. グループ発表
- 7.閉会挨拶……………学 長 山崎和海  
懇親会

#### 【研修会】

##### 3.基調講演～変わる立正大学について

熊谷再開発事業の紹介から、立正中高の馬込移転、デリバリーカレッジの展開、ブランディング活動を通しての教育の質向上への努力、ステークホルダーへの社会的説明責任、各種委員会の活動、一学部一優策事業、立正大学蘊奥賞、課外活動支援など、大学の取り組み全般を紹介。また、ケアロロジーについての考え方の説明も行った。

##### 4-1.「『モラリスト×エキスパート』を育む。」～建学の精神、教育理念、ブランドビジョン 立正大学の現状と今後目指す方向性・展望etc

建学の精神の説明や教育理念、ブランドビジョンの説明、ケアロロジーの認知向上の説明を行い、校章、叡智の眼、マスコットキャラクターのRISの紹介を行った。



##### 4-2.「初年次教育～導入教育とリメディアル教育の役割」～学修の基礎について

大学教育の歴史の説明に始まり、初年次教育、教育の質保証、シラバスの公開、組織的な授業改善の必要性を説明。また、シラバス(P)、授業(D)、授業アンケート(C)、自己点検(A)のPDCAサイクルの重要性とそれを活かすことがFDへ繋がると説明した。

##### 4-3.キャンパスハラスメントについて

キャンパスハラスメントの特徴と対策を具体例を挙げて紹介した。学生との一定の距離感や信頼関係を築くことの必要性を説明し、モラルの低下や学習環境の低下に繋がることへの意識付けを行った。

##### 4-4. 科研費の申請と公的資金の取扱いについて

科研費の申請方法や本学の実績を紹介。その後、出張旅費や消耗品費など本学の研究費の説明をし、クレジットカード決済を含む会計処理の方法を説明した。

#### 【ワークショップ】

新任教員が4つのグループに分かれ本学のブランドビジョン「モラリスト×エキスパート」、「ケアロロジー」をテーマにワークショップを実施。より良い人材輩出、教育・研究活動のために、各テーマのもつ意味などの意見交換が行われた。

#### 【懇親会】

研修プログラム終了後、懇親会を開催。新任教員にとって、役職教職員との、また学部を越えた教員間の交流の良い契機となった。

研修会終了後のアンケートでは、プログラム内容、ワークショップの進め方など概ね好評であった。所期の目的を果たすことが出来たのではないかと考える。一方、開催時期や講義時間の長さや、ワークショップのテーマの検討などの意見もあった。今後これらを参考に、より効果的なFD研修会の実施を目指したい。

#### ●山崎先生

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| ・人間に関する総合大学                    | 育の質の向上や、大学の価値向上へ、ステークホルダーへの社会的説明責任、情報セキュリティポリシー、各種委員会の活動 |
| ・熊谷キャンパス6月末に再開工事終了             | ・中高馬込へ移転→跡地を大学施設として使用予定、中高大連携へ                           |
| ・中高馬込へ移転→跡地を大学施設として使用予定、中高大連携へ | ・入口(入試センター)出口(キャリアサポートセンター)の状況                           |
| ・入口(入試センター)出口(キャリアサポートセンター)の状況 | ・オンリーワンの大学への改革   |
| ・オンリーワンの大学への改革                 | ・課外活動  |
| ・課外活動                          | ・デリバリーカレッジの展開、市民大学への協力                                   |
| ・デリバリーカレッジの展開、市民大学への協力         | ・ブランディング活動を通して教  |
| ・ブランディング活動を通して教                | 育の質の向上や、大学の価値向上へ、ステークホルダーへの社会的説明責任、情報セキュリティポリシー、各種委員会の活動 |

#### ●今井先生

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| ・建学の精神の説明、教育理念    | ・校章(橋)、叡智の眼、RISの名前 |
| ・ブランドビジョン「M×E」を育む | ・認証保留、改善報告提出へ      |
| ・ケアロロジー実践の認知を     | ・中高馬込キャンパスへ        |

#### ●吉岡先生

- |                                      |                            |
|--------------------------------------|----------------------------|
| ・初年次教育、導入教育、リメディアル教育、(大学の教育質保証の低下から) | による認証評価、自己点検の努力義務          |
| ・ゆとり教育 国立大学の法人化                      | ・98年FDの努力義務                |
| ・大学の環境変化 94年認証機関                     | ・99年以降自己点検、04年認証評価 07年FD義務 |

- |  |  |
|--|--|
| ・初年次教育、大学教育の質保証、シラバスの公開、組織的な授業改善等を行う       | より良い授業への展開、シラバスと自己点検活動がFDへ繋がる、ピアレビュー、Webシラバス、授業アンケート、学修の基礎I(全学共通授業)、学修の基礎II(学部ごとに内容違う) |
| ・シラバスはP授業はD、授業アンケートC、自己点検A 反省点改善点、シラバスへ活かす |  |

#### ●清水千尋

- |                            |   |
|----------------------------|---|
| ・先生方がもっているパワーの認識           | と対策                                     |
| ・教育の観点からのハラスメントへの徹底からパンフ作成 | 自己点検への評価対象 人権傷害 犯罪、社会問題になると大学のイメージ低下になる |
| ・キャンパスハラスメントの特徴            |   |

#### ●榊原先生

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| ・科研費になど 外部資金の導入、本学の実績説明 | 書資料費、図書費、学会出張旅費、諸会費(学会費)、備品、領収書の件 会計処理の方法 |
| ・学部の個人研究費の説明、石橋基金などの説明  | クレジットカードでの会計処理方法                          |
| ・出張旅費の使い方、消耗品、図         | 会計ルールの遵守                                  |

## 2. 学内FD推進講演会

### 1 「立正大学におけるICT活用教育の現状と今後」

開催日:平成22年7月7日(水) 16:00～18:00

会 場:立正大学 大崎キャンパス第6会議室・熊谷キャンパス第1会議室  
(遠隔教育システムによる両校舎同時開催)

#### 第1部 「立正大学におけるICT活用教育の現状～パソコンVSケータイVSクリック～」

講演者:今井 賢 立正大学経済学部経済学科教授

#### 第2部 「他大学ICT教育の事例報告～FDのための情報技術講習会参加報告～」

講演者:渡来 靖 立正大学地球環境科学部環境システム学科専任講師

平成22年7月7日、2部構成で「立正大学におけるICT活用教育の現状と今後」と題して、平成22年度第2回FD推進講演会が開催された。この講演会は、他大学の取り組み事例を参考として、本学教職員が共通認識に立った上で、本学全体のFD活動につなげることを目的としている。



【第1部】 本学経済学部の今井賢教授を講師とし、「立正大学におけるICT活用教育の現状」を講演した。講演は、本学の情報処理環境を中心とした教育支援環境の主な歴史から始まり、今井教授が現在、実践している情報メディアの教育的活用を紹介し、授業録画システム(Ub!Point)や授業でのケータイの活用方法などを説明した。その後、平成22年4月から経済学部の全学生に配布し学部一体的な取り組みは全国初の試みというクリック活用教育を紹介した。また、講演に出席した聴講者にクリックを配付し質問等を通してクリックの機能を体験した。

【第2部】 本学地球環境科学部の渡来講師が「他大学のICT教育の事例報告」と題して、渡来講師が参加した「FDのための情報技術講習会」(私立大学情報教育協会主催)の報告において、現在の大学がおかれている現状の説明から、他大学の事例が



紹介された。参加者からは、「クリックの機能を十分理解できた」や「他大学の事例報告は今後の参考になった」、「定期的な開催を希望する」といった意見が寄せられた。一方、開催時期や講演時間などへの意見もあった。

## 平成22年度FD研修会開催予定

### 1 第3回FD研修会

「立正大学におけるICT活用のためのFD・教員研修会」

開催日:平成22年10月6日(水) 16:00～18:00

会 場:立正大学 大崎キャンパス第6会議室・熊谷キャンパス第1会議室  
(遠隔教育システムによる両校舎同時開催)

第1部 「授業や委員会・会議でWebClassを使ってみよう」  
講演者:山下倫範 立正大学地球環境科学部環境システム学科教授

第2部 「授業で役立つPowerPointの活用」  
講演者:吉岡 茂 立正大学地球環境科学部環境システム学科教授

### 2 第4回FD研修会

「『日本でいちばん大切にしたい大学』になるために」

講演者:坂本光司氏 法政大学大学院政策創造研究科教授

『日本でいちばん大切にしたい会社』著者

開催日:平成22年11月5日(金) 13:30～15:00

会 場:立正大学 大崎キャンパス第6会議室・熊谷キャンパス第1会議室  
(遠隔教育システムによる両校舎同時開催)

## 3. FD経営学部研修会報告

開催日:平成22年6月18日(金) 15:40～16:40

会 場:研修会 大崎キャンパス 1号館2階 第2会議室



教授会終了後に経営学部第1回FD研修会が開催された。吉岡副学長も出席し、フリーディスカッション形式で「学修の基礎Iを振り返って」をテーマに行われた。「学修の基礎I」を昨年度担当した教員と今年度担当した教員が授業の進め方や問題点等を説明し、その内容についてディスカッションを行った。ディスカッションは積極的に行われ、有意義な研修会となった。経営学部ではこのような研修会を定期的に行う予定。

## 4. 立正大学FD推進活動状況報告(学部・研究科)について

FD推進委員会では、全学的な教育支援活動の企画立案とともに、学部・研究科の組織ごとに開催される授業研修会、研究会などの支援を行っている。授業改善と授業品質の基準策定、教育研究組織体制の整備・運営に取り組むために、学部・研究科等が年度当初に現状を把握し、具体的な方策を検討している。また、それぞれのミッションや重点目標を設定し、教育環境の改善に取り組んでいる。各学部・研究科の取り組み状況については、本学ホームページ「立正大学FD推進活動状況報告」を参照されたい。